

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために

全施策平均 67.5%
全施策平均 25.8%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	進捗状況(%)	施策重要度	施策満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策							
生涯にわたる 1 学習活動を促進する	<p>自分にあった学習の場や機会を得ることができていると感じている市民の割合</p> <p>H19: 36.1% H22: 36.7% 目標値: 48.0%</p>	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域の教育力の低下、市民ニーズの多様化・高度化への対応が必要 国においては「多様な学習機会の充実及び適切な提供により、その学習成果を家庭や地域の教育力の向上などにつなげるのが重要である」との考え方が提示された 本市においては、市議会から、「地域を支える人づくりを実現するための体制づくり」、「地域ぐるみで子どもを育む取組の重要性」などについて、社会教育委員の会議では、成人教育の推進の必要性について指摘 	1 社会をつくる人づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 全生涯学習センターで開催される講座・事業への延べ参加者数(人) マナビスの登録件数(講座) マナビスの登録件数(団体・講師) 	116.5%	51.5%	21.9%	<p>・全生涯学習センターで開催している講座・事業への参加者数は目標値を大きく上回る状況。平成22年度に設置した人材かがやきセンターの各種事業により市民の人間力向上や地域づくりなどを促進</p> <p>・成人教育推進に向けた具体的な取組を検討するとともに、人と人・人と地域をコーディネートする仕組みづくりを進める必要</p>	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域に貢献できる人づくりや社会状況の変化への的確な対応が一層求められており、人材育成事業や地域課題解決に向けた学習機会の創出などを着実に推進 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材かがやきセンターにおける人材育成事業や学習プログラムの開発・実施 地域教育に係る事業の検証と改善策の検討 学習成果を活かす機会の充実や人材と地域をつなげる仕組みづくり <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人式実施委員会交付金の運営のあり方などの見直し
	<p>1. 社会をつくる人づくり ◆ 2. 家庭・地域教育力向上 ▲ 3. 生涯学習活動支援 ●</p>	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策指標の進捗状況は76%となっており、各種講座等による学習機会の提供や地域教育推進体制の整備などを進めてきたこともあり、市民の学習活動や社会活動が促進。 地域教育に係る市民の意識醸成を図るとともに、学習成果を活かす機会の更なる充実や人と地域をつなげる仕組みづくりを進めることが必要 <p>【今後の取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域で学び、地域で育て、地域をつくる」地域教育を着実に推進するため、地域に貢献できる人材の育成、学習成果を地域での活動につなげる仕組みづくりに取り組む必要 <p>【重点施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材かがやきセンターを拠点とする地域人材の育成、地域人材バンクなどの整備 生涯学習コーディネーターの活躍機会の拡充 家庭・学校・地域・企業の連携強化に向けた仕組みづくり 	2 家庭・地域の教育力の向上	<p>放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数(人)</p>	170.7%	72.2%	27.2%	<p>・放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数は目標値を大きく上回る状況。親力向上事業の推進により参加者の意識が向上</p> <p>・家庭教育対象事業のより効果的な実施、関係団体や企業との連携強化、宮っ子ステーション事業実施校区の拡大に向けた取組などが必要</p>	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域の教育力の更なる向上のため、家庭教育への支援、家庭・学校・地域・企業の連携強化に向けた仕組みづくり、人材育成などの取組を推進。 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育対象事業における保護者への学習機会の充実・強化 放課後子ども教室事業(宮っ子ステーション事業)の実施校区の拡大 地域学校園における地域と連携した取組の実施 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力ある学校づくり地域協議会交付金のあり方見直し

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために

全施策 全施策
平均 平均
67.5% 25.8%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)		施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	進捗状況(%)	施策重要度	施策満足度	現状と課題	今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	・取り巻く環境								
	・現状と課題								
	構成する施策に関する 市民意識調査結果		・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策						
生涯にわたる 1 学習活動を促進する			3 生涯学習活動への支援充実	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習コーディネーターの人数(人) 地域教育メッセ出展団体数(団体) 	69.0%	58.4%	36.3%	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習コーディネーターを着実に育成するとともに、人と人、団体同士の交流機会も増加傾向。また、図書館事業も施策目標への貢献度は高い 市民の主体的な学習活動を促進するため、人材交流機会の更なる拡充や地域での活動に活かせるような学習プログラムの開発、生涯学習センターや地域コミュニティセンターなどとの連携が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後の考え方】 <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター・図書館等での事業を更に充実するとともに、生涯学習コーディネーターの育成や地域人材バンクの整備などにより、学習成果を地域での活動につなげる仕組みづくりを推進 【重点事業】 <ul style="list-style-type: none"> 図書館における生涯学習の拠点としてふさわしい体制整備や特色づくり 育成した人材に活動の場を提供する仕組みづくり 市街地における地域コミュニティとの連携の仕組みの構築 【見直し事業】 <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター文化祭負担金の見直し

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために

全施策平均 67.5%
全施策平均 25.8%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	進捗状況(%)	施策重要度	施策満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策							
信頼される学 校教育を推進 する	<p>子どもたちに対して、充実した学校教育が行われていると感じている市民の割合</p> <p>H19 30.8% H22 32.8% 目標値 41.0%</p>	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化や核家族化の進行により家庭・地域での教育機能が低下する中、食事マナーや体力の低下、不登校児童生徒の増加などの問題が顕在化 国においては、学校施設の耐震化、特別支援教育、情報化などを推進 本市においては、市議会から、学校施設の耐震化事業について早期に完了することが求められている 	1 学力向上の推進	<p>学習内容定着度調査での正答率(中学3年生の国語)80%以上の割合(%)</p> <p>72.4%</p> <p>学習内容定着度調査での正答率(中学3年生の国語)50%未満の割合(%)</p> <p>97.6%</p> <p>学習内容定着度調査での正答率(全学年全教科平均)80%以上の割合(%)</p> <p>66.5%</p> <p>学習内容定着度調査での正答率(全学年全教科平均)50%以下の割合(%)</p> <p>7.4%</p>	72.4%	74.3%	16.6%	<ul style="list-style-type: none"> 全学年の全教科の平均を比較すると正答率が80%以上の児童生徒は前年度を上回り、正答率50%未満の割合は前年度を下回る状況。確かな学力を身に付けた児童生徒を育成 学力定着が十分でない児童生徒のための学習を支援する取組を一層推進する必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員の授業力向上、児童生徒の学力向上等の取組の充実を図る <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校訪問授業や教員の授業力向上に関する研究 放課後等を活用した学習支援策の実施
	<p>優先して力を入れていくことが求められる領域</p> <p>今後も力を入れていくことが求められる領域</p> <p>見直し・効率化が求められる領域</p> <p>重点的な取組が一段落したと考えられる領域</p> <p>1. 学力向上 2. 健全育成 3. 学校経営 4. 教育環境 5. 特別支援教育 6. 教職員育成 7. 幼児教育 8. 高等教育</p>	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活に満足している生徒の割合が80%を超え、学習内容定着度調査の正答率、新体力テスト総合評価A段階の割合も増加 学校施設の耐震化も着実に推進 特別支援教育について「かがやきルーム」設置により保護者等への理解が定着化 教職員の資質・専門性をより一層向上させ、確かな学力を身に付けた児童生徒の育成する必要 東日本大震災により、耐震化の一層の推進や避難所としての機能拡充を図る必要 特別支援教育への一層の理解を図るため、継続的に啓発活動が必要 	2 豊かな人間性と健やかなからだの育成	<p>いじめの解消率(%)</p> <p>101.5%</p> <p>新体力テスト総合評価のA段階の割合(中学3年生)(%)</p> <p>98.2%</p> <p>新体力テスト総合評価のD段階の割合(中学3年生)(%)</p> <p>99.2%</p>	101.5%	78.3%	22.0%	<ul style="list-style-type: none"> 食育事業や体力向上事業については目標は概ね達成。いじめの解消率が高くなるなど一定の成果が上がっている お弁当の日や元気っ子プロジェクトなどの新たな取組の進行管理と評価、食事マナー指導、部活動における地域指導者の確保などに取り組む必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会状況やニーズ把握に努め、食育や体力向上、児童生徒指導の充実を図る <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校における食育推進事業、うつのみや元気っ子プロジェクト、部活動の推進、いじめゼロ運動、宮っ子すくすくケータイプラン、教育相談事業、適応支援教室事業等の推進

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために

全施策
平均
67.5%

全施策
平均
25.8%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	進捗状況(%)	施策重要度	施策満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・現状と課題		・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策					
信頼される学 2 校教育を推進 する			3 地域と連携した 独自性のある学校経営の推進	・「魅力ある学校づくり地域協議会」での教育活動等の充実を図るための事業数(件) ・「うつのみや学校マネジメントシステム」での「連携協力により教育活動等の充実を図っている」と判断する地域住民の割合(%)	71.2%	65.8%	21.6%	・魅力ある学校づくり地域協議会における事業も年々活発化。家庭や地域等との連携・協力のもと学校づくり・学校運営を推進 ・魅力ある学校づくり地域協議会事業の一層の推進 ・平成24年度からはじまる地域学校園の全市実施に伴う地域学校園協議会の導入検討	【今後の考え方】 ・今後も魅力ある学校づくり地域協議会事業を推進するとともに、学校・家庭・地域が一体となった各取組を着実に推進 【重点事業】 ・魅力ある学校づくり地域協議会事業に係るモデル地域学校園の状況把握と実践事例等の情報共有 【見直し事業】 ・「魅力ある学校づくり地域協議会事業」の見直し ・「地域から学ぶ校外学習推進事業」の廃止
		【今後の取組方針】 ・児童生徒の学習意欲の向上、基礎学力の定着を図るため、教職員の更なる授業力向上を目指す。学校施設の安全性の確保、ICT環境の整備、特別支援教育の一層の啓発を図る 【重点施策】 ・本市独自の教職員人材育成システム構築 ・放課後等を活用した学習支援策の実施 ・学校施設の耐震化の早期完了 ・発達支援ネットワーク会議を活用した支援体制整備	4 教育環境の充実	耐震化率(学校校舎・体育館)(%)	82.8%	68.1%	26.2%	・校舎・体育館の耐震化について事業を前倒して実施 ・教育用パソコンの配備やデジタルテレビ導入など教育現場におけるICT環境の基盤が整いつつある ・耐震化事業の早期完了に向けた事業の更なる前倒し、避難所としての機能性の充実を検討する必要 ・リフレッシュスクール事業や教育ICT環境整備による教育環境の充実を図る必要	【今後の考え方】 ・学校施設の安全性の確保や老朽化などへの対応が求められており、耐震化をはじめ各事業を計画的に推進 【重点事業】 ・耐震化事業、大規模改造事業の実施 ・既存ICT基盤を活用した事務の効率化 【見直し事業】 ・リフレッシュスクール事業
			5 特別支援教育の 充実	特別な支援を要する児童生徒に対し、個別の指導計画を作成して指導している学校の割合(%) 特別な支援を要する児童生徒に対し、全教職員の共通理解のもとに指導している学校の割合(%)	100% 80.6%	100%	71.1%	19.0%	・指導計画を作成率、活用している学校の割合が向上。「かがやきルーム」設置校の増加に伴い保護者等の理解が定着化 ・「かがやきルーム」等を活用した支援体制の充実、保護者への継続的な啓発活動の実施、発達支援ネットワーク会議の一層の活用が必要

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために

全施策
平均
67.5%

全施策
平均
25.8%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	進捗状況(%)	施策重要度	施策満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等	
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・現状と課題								・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策
信頼される学 2校教育を推進 する			6 高い指導力と情熱をもつ教職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> 「教職員ひらめき提案制度」への応募件数(件) 「教職員は協力し、教えることはしっかりと熱心に指導している」と判断している保護者の割合(%) 	57.7%	71.6%	12.6%	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の指導には保護者から一定の評価。授業実践に優れた人材を発掘・顕彰することにより教職員の資質や能力向上を図っている 教員の指導力向上を図る事業の充実、人材育成の仕組みを構築する必要 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後の考え方】 <ul style="list-style-type: none"> 人事権移譲のあり方の研究とともに、本市独自の教職員人材育成システムを構築 【重点事業】 <ul style="list-style-type: none"> 教職員研修事業 	
			7 幼児教育の充実	幼稚園地域子育て支援事業実施園数(園)	80.9%	67.6%	18.4%	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園における地域子育て支援事業実施園数が増加 小1プロブレムへの対応を図るため、就学前教育・保育と小学校教育とのより一層の円滑な接続が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後の考え方】 <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園就園支援など従来の事業の継続実施とともに、地域学校園の推進を踏まえた幼保小連携の更なる強化 【重点事業】 <ul style="list-style-type: none"> H24小中一貫教育実施を踏まえた幼保小連携の強化 	
			8 高校・高等教育の充実	市内8大学の公開講座数(回)	113.8%	68.7%	17.1%	<ul style="list-style-type: none"> 大学コンソーシアム栃木との連携などにより、積極的に講座等を開催 奨学金貸付事業の積極的なPRや市内大学等との連携強化による講座等の充実が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後の考え方】 <ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりの高度で専門的な学習機会の充実に向けた取組の積極的な展開 【重点事業】 <ul style="list-style-type: none"> 奨学金貸付事業のPR 市内大学との連携促進 ニーズを捉えた市民大学における学習機会の提供 リカレント教育の推進 	

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために

全施策平均 67.5%
全施策平均 25.8%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	進捗状況(%)	施策重要度	施策満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等								
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策															
3 個性的な市民文化・都市文化を創造する	<p>宇都宮の伝統や文化に個性や魅力を感じている市民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>割合</th></tr> <tr><td>H19</td><td>35.4%</td></tr> <tr><td>H22</td><td>35.5%</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>48.0%</td></tr> </table>	年次	割合	H19	35.4%	H22	35.5%	目標値	48.0%	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化により文化芸術の担い手が減少傾向 ・ 国においては、「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第3次基本方針）」が閣議決定 ・ 本市においては、社会教育委員の会議などにおいて、「ジャズ」を活用したまちづくり、子どもを対象とした取組の強化、文化財愛護団体への支援について意見 	<p>1 文化活動環境の充実</p>	<p>市民芸術祭、ジュニア芸術祭の参加者数(人)</p>	100.8%	48.8%	33.9%	<p>・ 市民芸術祭等の文化活動の参加者が増加し、施策目標はほぼ達成</p> <p>・ 文化振興の核となる関係団体との連携強化、ハード面における文化活動環境の充実を図る必要</p> <p>・ 本市の特色ある文化資源の継承が必要</p>	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の文化活動の支援を推進するとともに、本市の特色ある文化資源の活用を促進 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の文化活動に対する育成・支援 ・ 特に本市の特色ある文化資源である「ジャズ」「百人一首」などの取組を推進 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民芸術祭の実施体制の見直し
	年次	割合															
H19	35.4%																
H22	35.5%																
目標値	48.0%																
<p>1.文化活動環境 ◆ 2.文化的資源 ▲</p>	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民芸術祭等の参加者数や文化財保存団体数が増加し、市民の主体的な文化活動が活発化 ・ 政策指標は伸び悩んでおり、本市の誇れる文化資源などを活用し、市民文化・都市文化の創造を推進する必要 ・ 市民の文化的活動を促進する取組、担い手づくりの取組を推進する必要 	<p>2 文化的資源の掘り起こし、保存、継承</p>	<p>文化財保存団体数(団体)</p>	122.0%	55.0%	34.9%	<p>・ 市民団体などとの連携により文化財の保存活動が進むなど、施策目標は概ね達成</p> <p>・ 伝統文化の保存・継承に係る地域への周知啓発や子どもを対象とした伝承者育成のための取組強化を進める必要</p> <p>・ 歴史的・文化的資源の周知啓発を推進する必要</p>	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の共有の財産である文化財を適切に保存しながら、まちづくりへの活用を図り、文化的資源を次代へ継承するための取組を実施 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財を適切に保存・継承していくため、子どもを対象とした普及・啓発を推進 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光などとの連携強化、文化情報を効果的に発信していくための関連事業の見直し 									

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために

全施策平均 67.5%
全施策平均 25.8%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	進捗状況 (%)	施策重要度	施策満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策							
生涯にわたる 4 スポーツ活動を 促進する	<p>ライフスタイルに応じて、自分 にあったスポーツ活動がで きていると感じている市民の 割合</p> <p>H19: 30.0% H22: 29.1% 目標値: 40.0%</p>	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の進行や地域コミュニティの希薄化に伴い、スポーツの果たす役割は益々増大 ・東日本大震災により、多くのスポーツ施設に甚大な被害が発生 ・本市の市議会から、地域スポーツクラブの育成や市体育館の早期整備、ジャパンカップサイクルロードレースの充実などについて質問 	1 スポーツ活動環境の充実	20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率 (%)	84.1%	53.6%	31.2%	<p>・現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会などの参加者が過去最高となり、スポーツ施設の計画的な整備・改修などにより市民がスポーツに親しむ環境が整いつつある ・身近な場所でスポーツができる環境を充実させるため、地域スポーツクラブの設立・運営を積極的支援していくことが必要 ・東日本大震災による被災施設の修繕に取り組むとともに、スポーツ施設のあり方について検討 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が主体的に自分にあったスポーツに取り組むため、身近な場所で気軽にスポーツに親しめる地域スポーツクラブの設立・運営に対する積極的な支援、各種スポーツ大会の開催や、今後のスポーツ施設のあり方について検討 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブの設立に向けた地域の気運醸成 ・ジャパンカップサイクルロードレースの充実（クリテリウムの開催） ・全国スポーツレクリエーション祭の開催 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設等の整備
	<p>1. スポーツ活動環境 ◆</p> <p>2. 人材育成、団体活性化 ▲</p>	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策を構成する施策指標は着実に上昇 ・マラソン大会の参加者やジャパンカップサイクルロードレースの観客数が過去最高を記録するなど、市民が自分に合ったスポーツに親しむ傾向 ・身近な場所でスポーツができる環境整備、スポーツの大切さや意義に係る積極的な情報発信が必要 	2 スポーツを支える人材の育成・団体の活性化	スポーツ指導者の登録者数 (人)	103.4%	46.6%	22.7%	<p>・現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育指導委員や少年スポーツ指導員を対象とした研修会等を通しスポーツ指導者の登録者が増加。体育協会への支援などにより地域のスポーツ振興が図られた。 ・市民が身近な地域でスポーツに取り組めるよう、新たなスポーツ指導者の発掘・活用、資質の向上に努める必要。 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的にスポーツ活動を促進させるため、市民に身近な地域の指導者の充実を図り、スポーツを支える人材の育成・団体の活性化に取り組む。また、引き続きプロスポーツチームへの支援に取り組む <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育指導委員や少年スポーツ指導者などの新たなスポーツ指導者の発掘と活用 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関する総合的なホームページ（U-Sports）を活用したスポーツ指導者の資質向上

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために

全施策平均 67.5%
全施策平均 25.8%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	進捗状況(%)	施策重要度	施策満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策							
5 健全な青少年を育成する	<p>青少年が、社会の一員としての自覚をもって、充実した生活を送っていると感じている市民の割合</p> <p>H19: 17.5% H22: 15.9% 目標値: 32.0%</p>	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国においては、「子ども・若者育成支援推進法」を施行し、社会的自立に困難を抱える子どもや若者を地域において支援するためのネットワークづくりや、青少年を取り巻く社会環境の浄化を推進 ・非正規雇用が増加傾向にあるほか、青少年を取り巻く環境の変化に伴い、非行や問題行動に対する青少年自身の規範意識が低下し、青少年犯罪が低年齢化 ・「社会福祉審議会」の提言において、豊かな人間性や社会性を身につけるための場の確保や機会の充実、また、巡回指導活動や環境点検活動などの推進による地域ぐるみでの非行未然防止の必要性を指摘 	1 青少年の社会的自立の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層（15～34歳）における非労働者（家事・通学を除く）の割合（％） <p>※逓減を目指す指標</p>	—	78.4%	28.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援相談件数が目標を上回っており、継続的に相談ができる体制となっている ・宮っこフェスタでは、青少年の社会参画について一定の成果をあげている ・就労に結びついた人数が低迷しており、支援策の強化を図るとともに、相談員のスキルアップや社会体験的な経験が図れる取組の実施が必要。また、幼少期から青年期まで、一貫性・継続性のある支援を実施するとともに、地域や人との交流の機会や場の設置促進が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年自身が健全に成長し、社会的自立が果たせるよう、行政や地域などが一層連携・協力しながら良好な社会環境づくりを行うとともに、家庭に潜在化するいわゆるニートやひきこもりといわれる青少年の掘り起こしや相談支援体制の充実などに努める <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の社会的な自立に向けた支援策の充実 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の居場所づくり事業について、様々な交流機会の提供、中高生の生活や活動状況を踏まえた利用しやすい設置のに向けた効果的なあり方を検討
	<p>優先して力を入れていくことが求められる領域 今後力を入れていくことが求められる領域</p> <p>見直し・効率化が求められる領域 重点的な取組が一段落したと考えられる領域</p> <p>1. 青少年の社会的自立 (Blue Diamond) 2. 非行・問題行動防止 (Green Triangle)</p>	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施策指標の達成度が概ね100%に近い数値を示すなど、着実に取組を推進。「非行・問題行動の未然防止」においては、巡回指導活動の実施などにより、非行少年総数が減少 ・「青少年の社会的自立」については、就労に結びつく人数が低迷していることから、就労支援策の強化とともに、幼少期から青年期まで一貫性・継続性のある自立支援が必要。さらに、交流の機会や場の設置促進を図るなど、地域全体での青少年健全育成の取組が必要 	2 非行・問題行動の未然防止	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導による被指導者数 <p>※逓減を目指す指標</p>	97.8%	84.1%	24.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年巡回指導員による被指導者数は横ばいであるが、一日巡回指導や非行防止講演会の実施などにより、ここ数年の青少年犯罪は減少し、一定の成果があがっている ・家庭環境の向上につながる親への意識啓発を充実し、非行・問題行動の未然防止を図る 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導活動や環境点検活動など、継続して有害環境の浄化や非行の未然防止、問題行動の早期発見に努める <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年非行防止対策事業について、巡回指導活動の向上を目指すとともに、啓発活動を実施 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親への意識啓発を充実し、非行・問題行動の未然防止を図るため、家庭のモラル向上を目的とした一日巡回指導や非行防止講演会を実施